

むかし話のあらすじと、正しい「だい名」を線でむすびましょう

1

心やさしいおじいさんとおばあさんと、よくぶかいいじわるなおじいさんとおばあさんがとなりどうしにすんでいました。ある日、やさしいおじいさんのところに犬が走ってきました。いじわるじいさんののはたけをあらしているというのです。

- かぐやひめ

2

竹とりのおじいさんが竹を切っているとき、光りかがやく竹を見つけてきました。おじいさんが切つてみると、その中には小さな女の子がいたのです。子どもはいないおじいさんは家につれて帰り、おばあさんとそだてることにしました。

- 十二しのはじまり

3

むかし、かみさまがどうぶつたち「こんどのがんたん」にわたしのところに来なさい。十二番目までについたものは、これから一年交たいでどうぶつの大しようとする」とおふれをだしました。

- 花さかじいさん

4

びょうじやくなお母さんと男の子がくらしていました。お母さんにくすりをか買いたくてもお金が足りず、買えません。ゆうふくなおじいさんにお金をかりてくすりを買いました。お金をかえすために、男の子はいっしょうけんめいはたらきました。

- ごんぞうむし

